

受賞者氏名	小林尚登	
所属	デザイン工学部(名誉教授)	
受賞年月日	2022年2月22日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	公益社団法人 計測自動制御学会	
受賞名	名誉会員	
賞(研究)内容詳細	<p>計測自動制御学会は、1961年に発足した60余年の歴史をもつ学術団体であり、学会誌の他に英文・邦文の論文集も定期刊行しております。 この学会の定款には名誉会員について次のように規定されております。</p> <p>【名誉会員】 本会の学術または技術に関する権威者で、かつ正会員として本会に対し功績顕著なものであって、名誉会員規程に定める方法で社員総会で推薦されたもの</p> <p>現在までの60余年に96名が名誉会員となっており、そのうち53名がすでに逝去されています。</p> <p>私自身は大学生時代の学生会員からスタートして半世紀ほどこの学会にお世話になっております。計測自動制御の分野は、工学分野の多くの物を対象とする横断型技術分野ですので他の工学系学会と若干異なるかもしれません。とくに日本学術会議を通して他の学会との横断的連携もはかられてまいりました。日本学術会議の中に自動制御関連の委員会があり、私自身も下記のような立場で関与させて頂きました。</p> <p>日本学術会議・第19期工学基盤研究連絡委員会自動制御学専門委員会委員長(2003-2005) 日本学術会議自動制御の多分野応用小委員会委員長(2010-2014)</p> <p>公益社団法人 計測自動制御学会における活動、論文執筆や書籍出版、運営に関わることには数多くの思い出があります。半世紀に渡る活動の場でもありましたので、当然のことかもしれません。</p> <p>この学会の名誉会員に推挙されたことは感慨深いものでしたが、私の恩師(同名誉会員)がお祝いのメールを送って下さったことが最も嬉しく感じました。学術分野が継承・発展して行くことを祈っております。</p>	